



16 ひととき百貨店 「人と時を紡ぐ」事業

計画
達成度
50%

団体データ
代表者:藤井さやか
構成人数:20名 活動歴1年
主な活動地:
沼津を中心とした近隣市町
Mail:
hitotoki100ten@gmail.com
HP:
<https://hitotoki100.com/>

HP



事業目的 地域社会、地域財産(人・コト・モノ)の価値向上と地域活性化

この地域に住んでいることに誇りと喜びを持ち、出会えてよかったを紡ぎあえるような地域社会、地域財産(人・コト・モノ)の価値向上及び活性化に寄与することを目的とする。

2020年度の沼津市民間支援まちづくりファンド(行動が連鎖を生むネットワーク事業)をきっかけに地域で活動しているメンバーとともに「ひととき百貨店」立ち上げた。

【出会えてよかったを紡いで暮らしに喜びをまちにわくわくを】をミッションに掲げ、これからの時代に合わせた、市民が自らの意思で選択し活躍できる「地域のプラットフォーム」をオンラインおよびリアルで作っていく。

地域に存在する「人・コト・モノ」のストーリーを大切に、そこから「トキ(体験や場)」を作り出し、出会えてよかったを紡ぐような人と人の掛け算から起きる地域の可能性・価値を見つけ、未来に繋げる行動と発信をしていく。

現状と目標 地域の人繋がるプラットフォームとなる事業を目指す

本事業の実施、SNSでの積極的な発信(現在Instagramのフォロワー約1300人)、および多方面への営業活動により、地域の生産者、企業、民間団体、個人など多くの方に知っていただき、共感、応援していただくことができた。資金面だけでなく、マンパワーの提供や、口コミで活動を紹介など、様々な形で応援していただいている。

体験やモノを買う人や地元の生産者だけでなく、地域貢献に寄与する企業からも「ひととき百貨店」が実施する事業に対する反応は大きく、注目度は高いと感じる。

引き続き、地域の人繋がる、関わる人が「出会えてよかった」と言い合える、行動の連鎖が起きるプラットフォームとなるための活動を広げていく。

地域の人繋がる プラットフォームとなる事業



活動と成果 体験や交流を通して地域価値を学ぶ講座や繋がる会を実施

「楽しそう!」からはじまる沼津の宝(人・コト・モノ)を学び知り、人と人、人と時を繋げる事業として、年間10回の事業を実施。

<地域の宝(人・コト・モノ)のストーリーを知る体験>

- 5月21日:中村屋麴店のひしおを使ったひしお麴仕込み
- 6月1日:大中寺の歴史と敷地内での梅の収穫体験
- 6月2日:大中寺で収穫した梅で梅シロップづくり教室
- 9月24日:醤油麴を使用した発酵ジャンの仕込みと展開レシピレッスン(オンライン開催)
- 10月9日:沼津の農家さんからさつまいもについて学び、4種類の芋を収穫
- 11月10日:収穫したてのキウイで酵素シロップを作るワークショップ

参加者の声:生産者に直接会って話ができることは、とても貴重な体験だった。

この地域の魅力や価値を新たに発見することができた。

<生産者を囲む会(ゲストスピーカーを招き、地域で活動する皆さんと繋がる会)>

- 4月17日:滝尻わさび園の浅田恵子さん
- 5月3日:日本初のオーガニックワイン専門店「酒の矢田」の矢田匠さん
- 4月29日:沼津で活動するイラストレーター ヘレンさん
- 7月11日:農福連携事業を行っている「虹のかけはし」鈴木涼太さん

参加者の声:沼津で活動する様々な方たちと交流し繋がることができ、有益な情報交換ができた。

今後の自分の地域活動への意欲を更に向上させることができた。



振返り課題 ファンを募り収益化を目指す

資金の確保が一番の課題である。地域貢献を目的として「ひととき百貨店」の事業に共感し協賛して下さる企業を更に募りながら、地域財産をアピールした収益事業や「場」の運営から参加費収入を得たり、会費収入を得る仕組みを作りながら自立に向けた活動を継続していく。

引き続き、地域の可能性や価値を未来につなげる対話の場を作り、この地域に住んでいることに誇りと喜びを持ち、出会えてよかったを紡ぎあえるような地域社会、地域財産(人・コト・モノ)の価値向上及び活性化に寄与していく。また、地域の人繋がるプラットフォームとなる事業を目指していく。

Instagram
・Instagramのフォロワー:
4月時点 278人 → 現在 約1300人

・協賛の獲得:
沼津信用金庫、商工会議所、
セキスイハイム東海、藤田建設、エス. 他

